

図書館だより

箕面学園高等学校
図書館
平成30年2月13日



さて、質問です！「命とはいったいどこにあると思いますか？」それは心臓にあるのでしょうか？脳にあるのでしょうか？

『生きていくあなたへ』の本の中で日野原重明さんは「命というのは君達が見える時間の中にあるんだよ」と言っています。この本は図書館にもあるので借りに来てくださいね。

★図書館の閉館について

出願のため閉館します 2月14日（水）、15（木）



2月の新着図書



「ふたご」 藤崎彩織 文芸春秋

SEKAI NO OWARI の Saoriによる初小説、ついに刊行。第158回直木賞候補作。

彼は私のことを「ふたごのようだと思っている」と言った。彼は私のことをそんな風に言うけれど、私は全然そんな風には思わない。まず、私はあんなに突飛なことをしないし、だいいち学校だって一応大学までちゃんと通っていたし…



「掟上今日の色見本」 西尾維新 講談社

誘拐された忘却探偵。ボディガードの僕には、毎日が“彼女を守るラストチャンス”
「掟上今日を返してほしければ、十億円用意しろ」
置手紙探偵事務所唯一の従業員・親切守が受けた、突然の脅迫電話。天涯孤独の忘却探偵を救い出せるのは自分だけ。手探りで捜査を開始する！



「銀河鉄道の父」 坪井慶喜 講談社

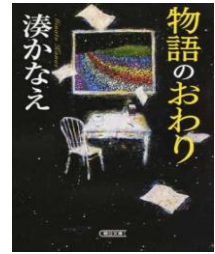
直木賞受賞作品!!

宮澤賢治の父からの視点で描かれた作品。
立派な父の影響を受け、賢治が新しい道を切り拓こうとする姿を応援し続ける実業家である父と親子の姿が描かれています。



「物語のおわり」 港かなえ 朝日新聞出版

人生の岐路に立ったとき、彼らは北海道へひとり旅をする。
そんな旅の途中で手渡された紙の束、
それは「空の彼方」という結末の書かれていない小説だった。
果たして本当の結末とは——。
あなたの「今」を動かす、力強い物語。



「カメラはじめます！」こいしゆうか
サンクチュアリ出版

カメラをはじめてみませんか？

覚えることはたった3つ! ?
マンガでわかる 一眼レフカメラの入門書! ムズカシイ専門用語も、マ
ニュアルも、写真のセンスも、いっさい必要なしという本です。一見の価
値あり



「ソバニイルヨ」 喜多川泰 幻冬舎

勉強が嫌いで、周りからどう思われているかばかりを気にして毎日生活し
ている隼人。さらに、些細な出来事がきっかけで、仲の良かった友達との
関係がもつれ、孤立することになってしまった。
ある日、自分の部屋に帰ると、そこには見慣れぬ物体が。
それは、長期間不在になる父親が残していったロボットだった。

「田園発 港行き自転車 上・下」宮本輝 集英社

富山県の滑川駅で父が突然亡くなった。駅前には一台の自転車が取り残さ
れていた。宮崎へ出張だったはずの父が、なぜ——。15年後、絵本作家に
なった真帆は、父の足跡をたどる旅に出る。予期せぬ出会い、「縁」という
不思議な糸が紡ぐ、美しい運命の物語。



「スポーツを仕事にする！」

生島淳 筑摩書房



スポーツには「する・みる・ささえる」の三つの側面があり、
今や「ささえる」のプロが多く活躍する時代になりました。気
鋭のスポーツジャーナリストが、急増する大学のスポーツ
関連学科や、急成長する職業について書かれています。



★ 2月の新着図書 ★



「スイカの種はなぜ散らばっているのか」稲垣栄洋 草思社

綿毛で上空1000メートルを浮遊するタネ、時速200キロ超で身から噴射されるタネ、殻に守られ数千年後でも発芽可能なタネ……。台所で捨てられるスイカやリンゴのタネにだって、子孫繁栄のための秘密がある。さあ、種の不思議な世界をのぞいてみよう!美しい細密画、約60点収録。



バッタを倒しにアフリカへ
前野ウルト浩太郎 光文社

大学院を出て、ポスドクとして研究室にいた頃は、安定した職もなく、常に不安に苛まれていました。博識でもなく、誇れるような実績もない。友達と楽しく飲んでいても、トイレにたったときに研究の手を止めた罪悪感に襲われる日々でした。なので、**一発逆転を狙おうと**

日本ではスーパーで売っているタコの産地として知られるモーリタニア。バッタ研究者だった前野さんは、思い立って一路モーリタニアへ。



「MINIATURE LIFE2」水曜社
田中達也(MINIATURE CALENDR)

ミニチュア写真家。ミニチュアをモチーフにして、日常にある物を別の物に見立てたアートがインターネット上で人気を呼び話題に。2017年NHK連続テレビ小説「ひよっこ」のタイトルバックを担当した人の写真集です。友達と一緒に見てね!



「どんな人でも頭がよくなる 世界に一つだけの勉強法」 坪田信貴
PHP研究所

おなじみの「ビリギャル」の勉強法

学年ビリのギャルが1年で偏差値を上げて慶応大学に現役合格した話」を書いた先生の本です。



「こころ・坊ちゃん」夏目漱石 文藝春秋社

実は図書館で人気の「こころ」です

3年生が、国語の授業で「こころ」を習った後、何人が借りにこられました。箕面学園図書館の隠れたベストセラーです。

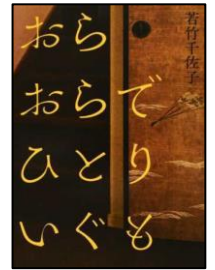


「物語論 基礎と応用」橋本陽介 講談社

私たちは常に、物語に囲まれて生きている。小説や漫画などのフィクションが「物語」なのはもちろん、著者によれば、スポーツ中継や日々のニュース、歴史叙述も「物語」だという。カフカ、田山花袋、ボルヘスから、「シン・ゴジラ」「エヴァンゲリオン」「この世界の片隅に」まで、具体的なテキストを分析し、私たちの現実認識が、物語の仕方によっていることを明らかにしていく。

「おらおらでひとりいぐも」若竹千佐子 河出書房新社

74歳、ひとり暮らしの桃子さん。おらの今は、こわいものなし——リズムあふれる文体で新しい「老いの境地」を描いた、芥川賞受賞作！結婚を3日後に控えた24歳の秋、東京オリンピックのファンファーレに押し出されるように、故郷を飛び出した桃子さん。身ひとつで上野駅に降り立ってから50年…



「図解EV革命」毎日新聞出版

電気自動車について学ぶ！

2025年には約110兆円に拡大するEV市場。知っておきたい電気自動車(EV)のこと。カリスマ経営コンサルタントの著者が図解で、わかりやすく解説します。

